

■正木直彦 官僚，美術教育者。長く東京美術学校長をつとめ，文展の創設はじめ，美術行政教育を長期に主導。

まさきなおひこ

生麦事件・・・1862＝ 堺(大阪府)の新地郷組頭正木林作の三男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 6歳：

廃藩置県・・・1871＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝11歳：

・・・1880＝18歳：

明治14年政変 1881＝19歳：

帝国憲法発布 1889＝27歳：

大本教・・・1892＝30歳：帝国大学法科大学法律科を卒業，

郡司千島探検 1893＝31歳：直彦と改名後，奈良県尋常中学校長に就任，

日清戦争始・・・1894＝32歳： 在任中，帝国奈良博物館学芸委員，奈良県古社寺保存委員などを兼任する。

八幡製鉄始・・・1897＝35歳：文部大臣秘書官に補せられて上京，

子規句歌革新 1898＝36歳：この年，東京美術学校で校長岡倉天心追放騒動。フランス万国博覧会出品調査委員となり，

Bushidou・・・1899＝37歳：渡欧，

田中正造直訴 1901＝39歳：*帰国して，東京美術学校長に就任。直ちに，下村観山の復職を天心に求めるなど，

温厚で公平な性格をもって，長期に渡って在任し，学校の発展と美術行政充実に尽力して行く。

日露戦争終・・・1905＝43歳：

満鉄発足・・・1906＝44歳：文部省美術展覧会(文展)創設を建議し，

韓国反日暴動 1907＝45歳：文部省美術審査委員会主事となり，*第1回文展が開催された。

明治天皇没・・・1912＝50歳：

大正政変・・・1913＝51歳：帝室技芸院撰択委員に任じ，

民本主義・・・1916＝54歳：

ベルサイユ条約・・・1919＝57歳：帝国美術院が設置されて文展が改革され，帝国美術院展覧会(帝展)が開かれると，その幹事を務め，

原敬首相暗殺 1921＝59歳：

治安維持法・・・1925＝63歳：

満州事変・・・1931＝69歳：*帝国美術院長となった。校内中心部に天心の銅像を建てて，

五一五事件・・・1932＝70歳：*32年間勤続した東京美術学校長を退官。後任に，初の作家校長となる和田英作を推挙して画期となる。

帝人疑獄事件 1934＝72歳：

芥川直木賞始 1935＝73歳：この年，東京美術学校に正木記念館が竣工。帝国美術院改組により院長を退き，

大政翼賛会・・・1940＝78歳：没した。

著書に「回顧七十年」「十三松堂閑話録」「十三松堂日記」4巻がある。

インターネット，